

令和6年度生徒指導サポート実践校 「特別活動の取組事例」

学校名	尾道市立栗原北小学校	校長	神原 雅彦	生徒指導主事	高田 雄太
取組事例名	『クラス会議～自治的風土・あたたかな共同体感覚の醸成～』				

1 取組の設定	
取組を実施する意図及びねらい	取組を通して育てたい児童生徒像
<p>令和2年度、「言葉で思いを上手く表現できない」という実態があり、本取組みを全校で導入した。現在、言葉での表現や自分たちで考え行動するという雰囲気醸成されつつある。ねらいは、①自分たちで決める・実行するという自治的風土を築く②自分の居場所を感じられ、他者と繋がっていると感じられるあたたかな共同体感覚を養うの2点である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>一人一人の思いや悩みに寄り添うことができる。</li> <li>自分の思いや悩みを言葉で表現し、友達に相談することができる。</li> <li>自分たちのことは自分たちで決め、実行することができる。</li> <li>目を見て体を向けて聴く、発言の順番を守る等、ソーシャルスキルを身に付ける。</li> </ul>



2 展開															
取組の具体的内容	取組の創意工夫														
<p>上越教育大学大学院赤坂真二教授が提唱されている『クラス会議』をベースに進めている。</p> <p>【基本的な進め方】</p> <table border="0"> <tr><td>1 輪になる（時間前）</td><td>7 話し合い</td></tr> <tr><td>2 あいさつ</td><td>・ 解決策を集める</td></tr> <tr><td>3 話し合いのルール</td><td>・ 解決策をしぼる</td></tr> <tr><td>4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）</td><td>8 決まったことの発表</td></tr> <tr><td>5 前回の解決策のふり返り</td><td>9 ふりかえり</td></tr> <tr><td>6 議題の提案</td><td>10 先生の話</td></tr> <tr><td></td><td>11 あいさつ</td></tr> </table> <p>【2種類の議題とその特徴】</p> <p>①クラスのルールメイク 「給食の配膳を早くするにはどうしたらいいか。」「クラスの仲をさらに深めるにはどうしたらいいか。」など、クラスの課題に対して話し合う。よりよいクラスのために折り合いをつけながら決定していく。</p> <p>②個人のお悩み相談 「どうしたら寝坊せず起きられるか。」「友達に思いを上手に伝えるには？」など、一人一人の悩みにクラス全員で寄り添い、解決策を出していく。友達の立場に立ち、親身になって考える姿が多く見られる。</p> <p>【参考文献：赤坂真二『赤坂版「クラス会議」完全マニュアル』</p>	1 輪になる（時間前）	7 話し合い	2 あいさつ	・ 解決策を集める	3 話し合いのルール	・ 解決策をしぼる	4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）	8 決まったことの発表	5 前回の解決策のふり返り	9 ふりかえり	6 議題の提案	10 先生の話		11 あいさつ	<p>児童にめあてをもたせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年度当初に「なんのためにクラス会議を行っているのか」を確認する。</li> <li>適宜教師や司会が話し合いの姿を価値付ける。例：「〇〇さんの今の発言は、友達の立場になって考えていないと出ない発言だね。すばらしい！」など。</li> </ul> <p>児童の意欲を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>議題提案の際に教師が介入し、「この議題が解決しなかったらどうなるか。」「悩んでいる理由は何だと思うか。」など、全員が議題に対して同じ土俵に立ち、子どもの心に火を付けるための切り返しを行う。</li> </ul> <p>児童の頑張りを認め、価値付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「先生の話」では、子どもたちの話し合い中のキラリと光る発言や様子を具体的に子どもたちに伝える。「〇〇くんは〇〇さんの悩みに寄り添って、自分事として一生懸命考えていたね。」「うなずきながら聴けているね。」など。</li> </ul>
1 輪になる（時間前）	7 話し合い														
2 あいさつ	・ 解決策を集める														
3 話し合いのルール	・ 解決策をしぼる														
4 いい気分・感謝・ほめ言葉（アイスブレイキング）	8 決まったことの発表														
5 前回の解決策のふり返り	9 ふりかえり														
6 議題の提案	10 先生の話														
	11 あいさつ														



3 成果と課題
<p>成果①児童アンケートの結果、「学校に行くのが楽しい」と回答した児童の割合 90.4%</p> <p>②児童アンケートの結果、「クラスの中で安心・安全に過ごせている」と回答した児童の割合 89%</p> <p>課題①「何のためにクラス会議を行っているのか」を継続して意識するのが難しい。</p> <p>②子どもたちに「委ねる」ために、どのような介入をしていくべきかが難しい。</p>